

2017-2018

Weekly Bulletin of KAKOGAWA CHUO R.C.

●R.I.会長/イアン・H.S.ライズリー ●地区ガバナー/瀧川 好庸

●会長/大西 淳滋郎 ●幹事/井上 孝明 ●クラブ会報委員長/宮本 鹿司夫

●事務局/〒675-0064 加古川市加古川町溝之口 800 番地 加古川商工会議所会 5F

TEL 079-421-5152 FAX 079-421-5559 E-mail info@kakogawa-chuo-rotary.club



ロータリー：
変化をもたらす

第 2116 号

平成30年 2月 15日 (木) No 28

卓話：堀 公行会員



★会長挨拶



★堀 公行会員

会長あいさつ

大西 淳滋郎

皆さん、こんにちは。2月3日に鹿島殿にて執り行われましたインターシティミーティングにご参加頂きました会員の方々にはお忙しい中にもかかわらずご参加頂きまして御礼申し上げます。有り難うございます。明日から国際奉仕委員会事業で、ミャンマーで小学校建設に御尽力頂きました宇田川会員・松尾会員・松田会員の先導にて8名でミャンマーに行っています。どのような国か？どのような学校か？子供達の笑顔など楽しみにしております。帰りましたら、ご報告したいと考えております。

今月は、平和と紛争予防/紛争解決月間です。その月間ではありますが、平昌オリンピックの真最中です。沢山の選手達が活躍中です。その中でも、女子ジャンプの高梨沙羅選手が銅メダルを獲得できました。ソチオリンピックでは金メダルが確実と言われながら、4位に終わり悔しい4年間を過ごして来たと思います。オリンピックに調子をピークに持って来る事の難しさを教えてくれました。今回は反省のうえに立ち、調子をピークに持って来たようです。「金メダルが目標です」の言葉を聞けば、やってくれるのではと、わくわくしながらテレビ中継にかじりつき応援しました。残念ながら銅メダルでしたが、大健闘を称えたいと思います。スキージャンプは風に影響を受ける最たるスポーツです。陸上競技であれば、追い風は大歓迎。ジャンプはこれの真逆です。今回のピョンチャンのジャンプ台は強い風が吹く事で有名だそうです。風は刻一刻変化するので、スタート位置を上げたり下げたりと、競技の公平を保つため苦労の連続のように見えました。前回のオリンピックでは、高橋沙羅選手の時風が止み、メダルに届きませんでした。今回のジャンプ台は風が強く、ウィンドファクターなる私の知らない競技ルールも出てきました。風の向きでウィンドファクターはプラスになったりマイナスになったりするそうです。ルールですから仕方ありません。そのジャンプ競技に使う板は身長145%以内と決まっているので、身長152cmの高梨沙羅選手の板の長さは他のヨーロッパの選手より約50cm短いそうです。これもルールですから仕方がないことですが、何故か釈然としません。風でプラスマイナスがあるのなら、身重で考えますと小さい者は長い板を使っても良さそうな気がします。少なくとも道具は同じ大きさがルールだとは思われませんか？これも西欧人特有のルールなのでしょう。武士道にも「西欧人はバラを好み、日本人は桜を好む」と書かれているのを思い出しました。

ところで、大会前に北朝鮮から韓国にマンギョンボン号が突如として入港してきたようです。サムジョン楽団が乗ってきたそうです。ミサイル関連部品の密輸や不正送金に使用されたとされる船です。韓国は入港禁止にしておりましたが、例外的にオリンピックの為に入港を認めたようです。それも何のチェックもせずに楽団員を入国させたようです。今月は、平和と紛争予防/紛争解決月間です。

このような場当たりの行動で良いのでしょうか。ルールに厳しいオリンピック中に、なし崩し的に国際ルールが骨抜きにならないか心配をしております。そんな中でも、日本選手の正々堂々

とした活躍を期待しております。会長の時間を終わります。